

## (8) 消 防 費

事業名		広域消防事業			予算科目	会計	01	一般会計
						款	09	消防費
事業開始年度	平成	年度	事業進捗率	%		項	01	消防費
担当部署	総務	部	総務	課		目	01	常備消防費
事業費 (A)		485,679,000 円			事業の目的・目標	常備消防としての「江津邑智消防組合」への負担金。(江津市負担分)		
財源内訳	国庫支出金			円				
	県支出金			957,000 円				
	地方債	100%		12,900,000 円				
	その他			円				
	一般財源			471,822,000 円				

施策の内容、実績、及び効果

○事業の内容

●江津邑智消防組合負担金  
(負担金の内訳)

市町名	負担金	備考
江津市	485,679,000	人口・財政需要額割 484,722,000 県事務処理特例負担金 957,000
川本町	110,701,000	
邑南町	325,026,000	
美郷町	163,100,000	
計	1,084,506,000	

(広域消防業務の実績)

市町名	出動件数			備考
	火災	救急	計	
江津市	19	1,352	1,371	
川本町	3	318	321	
邑南町	8	616	624	
美郷町	6	312	318	
計	36	2,598	2,634	

○事業の効果

市民の生命財産を火災から保護するため、火災等の災害を防除及び被害の軽減を図ったほか、傷病者の運搬を迅速かつ適切に行った。

事業名		消防活動充実強化事業			予算科目	会計	01	一般会計	
						款	09	消防費	
事業開始年度		平成	年度	事業進捗率		%	項	01	消防費
担当部署		総務	部	総務		課	目	03	消防施設費
事業費 (A)				20,799,508 円	事業の目的・目標	消防活動等が迅速にできるよう、小型ポンプ・積載車・資機材の更新、消防ポンプ庫修繕、防火水槽、消火栓の新設を行う。			
財源内訳	国庫支出金			4,600,000 円					
	県支出金			円					
	地方債	100%		10,100,000 円					
	その他			296,000 円					
	一般財源			5,803,508 円					

### 施策の内容、実績、及び効果

○事業の内容 7,814,100円

●防火水槽設置工事等

- ・有福温泉地区防火水槽設置工事 4,886,700円
- ・有福温泉貯水槽漏水修繕工事 2,142,000円
- ・有福温泉ポンプ庫改修工事 785,400円

●備品購入費 5,172,300円

- ・小型動力ポンプ積載車・ポンプ 4,357,500円
- ・分団旗 247,800円
- ・その他消防用備品 567,000円



●負担金補助及び交付金 2,682,750円

消火栓設置工事負担金  
(後地町・嘉久志町・和木町・桜江町今田)

●その他 5,130,358円

需用費	消耗品費・光熱水費・修繕料	3,430,641円
役務費	手数料・火災保険料・自動車損害保険料	841,865円
委託料	委託料	472,500円
使用料及び賃借料	土地借上料・共架使用料	76,256円
原材料費	補修用資材費	26,426円
公課費	自動車重量税	282,670円

○事業の効果

消防資機材や施設の整備を行い、より迅速で安全な活動ができるようになった。

事業名		災害対策費			予算科目	会計	01	一般会計
						款	09	消防費
事業開始年度		平成	年度	事業進捗率		項	01	消防費
担当部署		総務	部	総務		課	目	05
事業費 (A)		4,156,077 円			事業の目的・目標	本市において想定すべき災害を平素からの予見・検証の体制、災害発生時の対応体制などについて再度整理するとともに、東日本大震災など直近の災害で得られた教訓等も考慮しながら、本市の実態に即した計画となるよう見直しを行う。		
財源内訳	国庫支出金			円				
	県支出金			円				
	地方債			円				
	その他			円				
	一般財源			4,156,077 円				

施策の内容、実績、及び効果

○事業の内容

- 地域防災計画等改定業務委託料 3,032,400円

内容・効果

1. 地域防災計画の改定

- ①風水害対策編、地震対策編、津波対策編、事故災害対策編、資料編の5編を作成する。  
作成にあたっては、以下を基本内容とする。

- (ア) 最新の法令等との整合を図る
- (イ) 島根県地域防災計画にそった構成とする
- (ウ) 本市の現状に即した内容とする
- (エ) 災害時の被害を最小化する「減災」の考え方を基本指針とする
- (オ) 東日本大震災等近年の災害によって得られた教訓等を反映する

2. 災害時職員初動マニュアルの改定

- 1で作成する地域防災計画、国や県の作成している各種被害想定、過去に本市で起こった災害等を踏まえ、職員の災害時初動を規定するマニュアルを作成する。

作成にあたっては、見やすいレイアウトやわかりやすい説明等、職員が理解しやすいものとなるよう工夫する。なお、風水害対策編と地震・津波対策編に分けて作成する。

3. 避難所運営マニュアルの作成

- 1で作成する地域防災計画、国や県の作成している各種被害想定、過去に本市で起こった災害等を踏まえ、避難所運営の方策をガイドラインとしてまとめる。市内にある指定避難所で幅広く使えるよう、運営のあり方や運営の際に注意すること。また、日ごろからの避難所運営の準備などについてマニュアルとして取りまとめる。

※なお、本マニュアルについては、島根県避難所運営マニュアルガイドラインに基づき作成する必要があるが、同ガイドラインが当初予定の平成24年度内に策定されず、平成25年度へずれ込むことが明らかとなったため、繰越となっている。

- 島根県総合防災システム管理費負担金 940,000円

県内各市町村に設置されている防災システム。県からの防災情報が伝達されるほか、各自治体の災害状況等を県に情報提供することができる。

- その他経常経費 183,677円

事業名		災害対策費（繰越）			予算科目	会計	01	一般会計	
						款	09	消防費	
事業開始年度	平成	年度	事業進捗率	%		項	01	消防費	
担当部署	総務	部	総務	課		目	05	災害対策費	
事業費（A）		25,183,097円			事業の目的・目標	市内4か所に設置した災害備蓄庫に、災害時の応急対応等に使用する資機材、食料、生活必需品等を備蓄するとともに、津波発生時に迅速な避難行動に移れるよう、市内に海拔表示板を設置した。			
財源内訳	国庫支出金								円
	県支出金								円
	地方債	100%	24,900,000円						円
	その他								円
一般財源	283,097円			円					

施策の内容、実績、及び効果

○事業の内容

●消耗品（主なもの）

13,637,985円

シチューセット	1,200食	防水シート	20枚
豚汁5年保存用	1,500食	雨合羽	72着
アルファ米炊出セット	3,000食	簡易トイレ	20,000回
粉ミルク	2,500食	エコロジー食器セット	3,000食
哺乳瓶	50本	圧縮軍手・タオルセット	1,800食
紙おむつ	1,070枚	多人数用救急箱	500人分
生理用品	2,800枚	非常用給水袋	2,000袋
5年保存水	1,800本	電池	3,360個
毛布	1,000枚	懐中電灯	80個
パーティション	300部屋	ランタン	120個
折りたたみ式ヘルメット	120個	救命胴衣	120着
		土嚢	6,000袋

●委託料（主なもの）

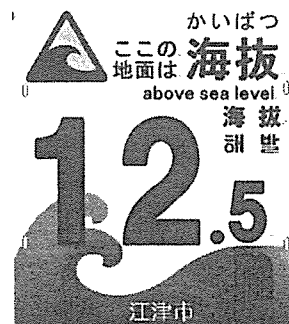
4,237,196円

・海拔表示板作成・設置業務

東日本大震災において、大津波により多くの人命が失われました。そのような中でも、迅速な避難行動が自身や家族、地域住民を救う結果となった事例が数多く報告されています。

市民自らが、日頃から居住地周辺の海拔を意識することにより、津波発生時に迅速な避難行動に移れるよう、市内沿岸部及び河川下流域の電柱等に、その地点の海拔を示した表示板を設置しました。

なお、表示板に書かれた数値（海拔）は「この高さなら安全か、危険か、どのくらいの津波なら大丈夫か」といったその場での判断材料としてではなく「今より更に安全な高台はどこか」「そこへは何分でたどり着けるか」「どのような避難経路がよいか」というような避難行動を考える上で活用していただくことを目的とした。



●備品購入費（主なもの）

7,307,916円

避難所用LED照明	6基	担架（アルミ）	8個
ガス発電機	8基	担架格納庫	8個
救助ボート	7艘	コードリール	16巻
		工具セット	4セット

事業名	防災情報伝達システム整備事業			予算科目	会計	01	一般会計
					款	09	消防費
事業開始年度	平成 17 年度	事業進捗率	30 %		項	01	消防費
担当部署	総務 部	総務 課			目	05	災害対策費
事業費		12,124,969 円		事業の目的・目標	災害が発生し、また発生する恐れがある場合、迅速かつ的確に防災情報を伝達するとともに、平常時には一般行政情報を共有するため防災行政用無線戸別受信機を貸与する。 また、屋外拡声子局を増設し、地域全体へのきめ細かい情報伝達に努める。		
財源内訳	国庫支出金		円				
	県支出金		円				
	地方債	95%	9,100,000 円				
	その他		1,712,750 円				
一般財源		1,312,219 円					

施策の内容、実績、及び効果

- 防災行政用無線（同報系）戸別受信機設置 事業費 4,550,910円  
 事業量 設置 127件（従前 2件） アンテナ設置 16件 アンテナ撤去 4件  
 市内の加入者数・・・3,154 加入率・・・31.3%  
 効果 加入率を上げることができ（前年度比+1.2%）、より多くの市民に防災情報を提供できるようになった。

●屋外拡声子局増設工事

災害時の防災情報伝達手段として、黒松公民館および浅利上町宮町集会所に防災行政用無線屋外拡声子局を増設した。

事業費 6,789,300円

効果 海岸部の地域に屋外拡声子局を設置し、津波災害に対応する情報伝達ができるようになった。

●音声合成ソフトウェアの購入

パソコン上で入力した文字情報を、自動的に音声に変換できるソフトウェアの購入

事業費 630,000円

効果 「ごうつ防災メール」と連動させることで、メール内容を自動的に音声変換し、視覚障害者宅へ電子音声による情報伝達システムを構築に繋げるとともに放送事務を省力化するもの。

●事務費（消耗品・郵券料等） 154,759円

事業名		防災資機材等備蓄施設整備事業			予算科目	会計	01	一般会計	
						款	09	消防費	
事業開始年度		平成	年度	事業進捗率		%	項	01	消防費
担当部署		総務部		総務課			目	05	災害対策費
事業費(A)					事業の目的・目標	災害時の応急対応等に使用する資機材、食糧、生活必需品等を収納する災害備蓄庫を市内の東部、中部、西部、南部(桜江地区)の拠点避難施設に設置する			
財源内訳	国庫支出金			15,853,145円					
	県支出金			円					
	地方債	100%	15,700,000円						
	その他			円					
	一般財源			153,145円					

施策の内容、実績、及び効果

○事業の内容

●災害備蓄庫設置

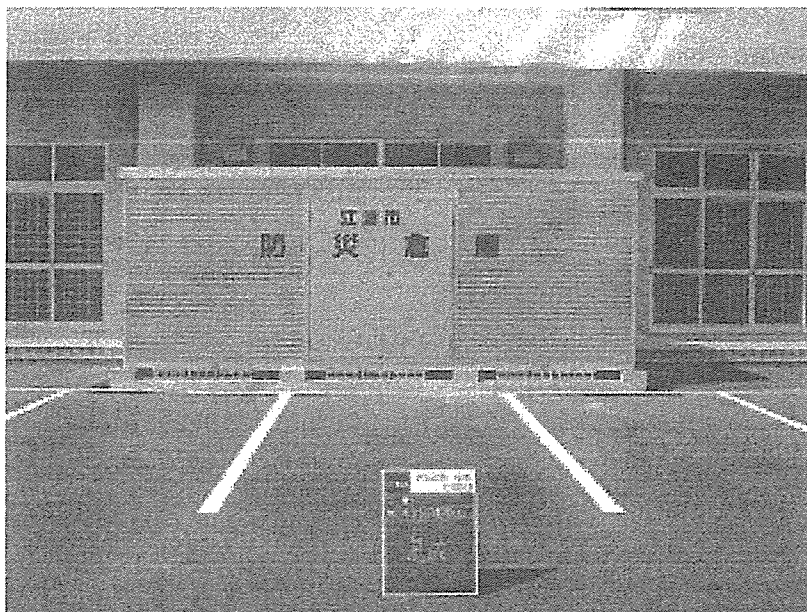
設置箇所：4箇所

設置場所：江東中学校・江津市民体育館・青陵中学校・桜江中学校

金額：役務費 60,000円

委託料 854,945円

工事請負費 14,938,200円



○事業の効果

災害備蓄庫の設置で、避難生活者等の概ね3日分に相当する量の食糧及び給食用資機材を整備することができた。

